

2022年(令和4年)3月オホーツク管内倒産集計

2022年4月4日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

3か月連続の発生ゼロ 1~3月発生ゼロは集計開始以来初

3か月発生ゼロは2019年12月以来

■前月比	件数	同数(2022年2月)	0件)
	負債総額	同数(0円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件減少(2021年3月)	1件)
	負債総額	9,200万円減少(9,200万円)

2022年3月の発生状況

2022年3月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)の発生はゼロだった。これは発生がなかった前月と比較すると件数、負債総額ともに同数。前年同期比では件数は1件、負債総額で9,200万円のそれぞれ減少となった。

3か月連続の発生ゼロは2019年12月以来となるが、1月から3月に発生がなかったのは1966年に当社が倒産集計を取り始めて以来初めてとなるなど歴史的な低水準で推移している。

過去5年間の3月の発生状況を見てみると17年5件、18年5件、19年ゼロ件、20年1件、21年1件の推移で、平均発生件数は2.4件、同負債総額は1億9,160万円となっており、3月は発生の多い月であるものの、今年は発生ゼロに止まり、沈静を維持した。

2022年1～3月の発生累計

過去5年間の1～3月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は4.8件、同負債総額は4億1,160万円であるが、今年の累計発生件数はゼロに止まっている。1～3月の累計発生件数がゼロとなるのは、当社が集計を取り始めた1966年以来初めてとなる。

過去5年間で今年1～3月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2017年	10件	3億9,100万円
2018年	5件	5億6,600万円
2019年	2件	1億4,100万円
2020年	4件	7億9,800万円
2021年	3件	1億6,200万円
2022年	0件	0円

今後の見通しと問題点

まん延防止等重点措置の適用が3月21日で解除され、「どうみん割」や「Go To Eat」が再開されたことで飲食店や春の観光シーズンを迎える管内観光業界にとっては朗報であり、業績回復への期待が高まりつつあるが、道は全道を対象に4月17日まで「再拡大防止対策」を実施しており、回復への足取りは鈍いと見られる。

円安に加えてロシアのウクライナ侵攻による資源高が重なり、燃料や原材料価格が高騰しているが、これを販売価格に転嫁できない企業は多く、運送業者に止まらず幅広い業種で採算悪化が予想されているなど懸念材料は多い。

今年の四半期(1～3月)は倒産がゼロに止まっているなど過去に例を見ない低水準で推移している。しかし、引き続き企業の経営環境は厳しく、コロナ資金を導入した多くの企業が今年中に返済が始まるなか、業績不振が長期化しているため、コロナ資金をすでに使い果たしたうえ、返済のための資金を確保できずにいる企業は多く、こうした企業の倒産が今後増加を辿る懸念は払拭できない。

